

家庭教育力の向上

地域性を生かした温かいP T A活動

美浜町立上野間小学校 P T A

1 はじめに

子どもの育成には、学校教育だけでなく、家庭教育力が大きな影響を与えることは言うまでもない。家庭は子どもの人格形成の基盤であり、生活習慣や社会性を育む最も基本的な場である。家庭教育力の向上には、親が子どもと積極的に関わり、共に成長できる環境を作ることが求められる。

本校では、美浜町の教育の合い言葉である「みんなで はじめよう！ まず、当たり前のことから！（頭文字が みはま）」を掲げて、さまざまな「当たり前」のことを大切にしながら学校や家庭、地域全体を巻き込んだP T A活動を実施し、子どもと保護者の絆を深めている。



【海が間近な美浜町立上野間小学校】

2 研究への取組

(1) P T A組織と活動内容

本校は全学年が単学級で毎年児童数の減少が見られるが、P T A役員の人数は今のところ変更はなく、会長1名、副会長1名、家庭教育委員1名、書記1名、会計2名で構成されている。組織としては、環境部と健全育成部を設け、以下の主な活動を行っている。

部	担当する主な活動
役員(6名)	PTA 総会・運動会
環境部(7名)	校内環境整備活動・資源回収
健全育成部(8名)	浜遊び・交通安全教室・もちつき大会・ラジオ体操

(2) 研究実践のねらい

前述の通り、家庭教育力を向上させるためには、保護者による子どもへの積極的な関わりが欠かせない。保護者による積極的な関わりは、よきサポートでもあり、子どもにとって安心感を生み出し、健全な成長を促す。本校のP T A活動においても、このような保護者と子どものよき関係を醸成できる場を目指して取り組んでいる。

3 実践活動の概要

本校では、家庭教育力の向上を目指すべく、保護者と子どもと一緒に参加するさまざまな活動を行っている。

(1) 浜遊び

本校は伊勢湾からすぐ近くにある、歩いて浜辺に行くことができる恵まれた環境にある。

P T A主催の浜遊びは、美浜町の西海岸の小学校3校が連携して、地元の漁協の協力の下、普段は立ち入ることができない浜を開放してもらい、親子で磯の生き物を観察したり、海に入って水遊びをしたり、浜辺で砂遊びをしたりする行事である。子ども達は、漁協の方々に感謝しながら、海や浜で思い思いに体を動かし、地元の自然の中で親子そろって楽しく遊ぶことができる。このような地域性を生かした、親子で共に過ごす自然体験を通じて、子ども達は感性を養い、親子の関係がより深まりを増し、家庭内でのコミュニケーションも充実する。



【浜遊び】

(2) もちつき大会

師走の恒例行事であるもちつき大会は、P T A健全育成部が中心となって企画する。当日に向けて、P T A役員・委員だけでなく、有志も募り、毎年多くの参加者の協力を得て開催される。

もちつき大会の前日にはP T A役員や委員、教職員が集まり、杵や石臼を体育館に並べたり、もちの味付けの下ごしらえをしたりして準備をする。



【もちつき大会】

当日は、P T A役員や委員、そして有志の会員が総出で準備に取りかかり、体育館では石臼を熱湯で温め、家庭科室ではもち米を蒸して、もちつき大会会場の体育館まで運ぶ。

子ども達は体育館に集まり、順番にもちつきを行う。慣れないながらも一生懸命に杵を振ってもちつきを行い、親も補助をしながら楽しくもちが出来上がる。ついたもちは丸めて、きな粉やあん、ごまやみたらしなどの味付けをして、皆で食べる。

もちつき大会は、親子で一緒にもちをつくことで、自然な会話や協力

が生まれ、日常では得がたい「親子で共に体験する時間」が、信頼関係や絆を深めるきっかけになる。また、親が自らの経験を語りながら、もちつきの意味や昔の風習を伝えることで、文化の継承が家庭内で行われる。子ども達にとっては、地域の方々との交流を通じて、「地域のつながり」を感じる貴重な時間にもなる。

(3) 運動会

運動会は、子ども達の体力や仲間との協調性を育むだけでなく、親子との絆が深まる場でもある。特に親子で協力する競技は、家庭教育力の向上に大きく貢献する要素を含んでおり、同時に家庭教育力を高める実践の場でもある。

本校では、全校児童と保護者が共に参加する種目（P T A 競技「玉入れ」）がある。P T A 役員が中心となって企画し、運動会当日も P T A 役員が進行を務める。



【P T A 競技「玉入れ」】

毎年多くの保護者が参加し、当日までに親子で作戦を立てたり、声を掛け合ったりすることで、日常とは異なる形での対話が生まれ、親子の絆を深めるきっかけになる。親が子どもに責任を持たせたり、子どもが親を支えたりする場面を通じて、互いに役割を意識するようになり、家庭内での役割理解にもつながる。また、成功や失敗を親子で共有することで、子どもは「自分は受け入れられている」という安心感につながり、これは家庭教育の重要な柱である、自己肯定感の土台となる。

(4) 交通安全教室

毎年4月にP T A 健全育成部と協力して実施している。

小学1、2年生は校内で歩行訓練を行い、信号の見方や道路の歩き方を学ぶ。また、3～6年生は校内と校外で自転車を使った交通安全教室を行い、交通ルールを実践的に学んでいる。



【交通安全教室】

P T A 健全育成部の保護者が、交通安全教室実施前に交通指導員から交通ルールや実施方法の説明を受け、その後で校内外の各ポイントに立ち、子ども達に安全指導を行いながら、保護者自身も交通安全に対する意識を高めている。親子で一緒に交通ルールを実践的に学ぶことにより、家庭での交通安全教育にもつながっている。

(5) 校内環境整備活動

5月と9月にPTA環境部が中心となって、校内の環境整備を行う。子ども達は参加しないが、PTA会員の有志も加わり、主に草刈りを実施する。校内環境整備活動にはどの保護者も積極的に参加していて、中には当日の朝、活動が始まる前から草刈りに精を出している保護者や、活動に自前の草刈り機を数台持参する保護者もいる。



【校内環境整備活動】

参加者全員で運動場や遊具広場などを広範囲にわたって整備し、活動後には、校地内がとてもきれいに整備され、美しい環境が作られる。

校内環境整備活動は、保護者が学校に対して主体的に関わる機会のある場としての一面をもち、子どもにとっては親の姿をとおして、責任感や勤労奉仕の尊さを学ぶ場としての機能も併せ持つ。また、保護者にとっても、「子どもを育てるのは、家庭だけでなく、地域や学校も含めた共同体である」という意識が再確認され、家庭内での教育を見つめ直すきっかけとなる。

4 おわりに

家庭教育力の向上は、子どもの健全な成長を支えるために欠かせない要素である。保護者が自らの役割を自覚し、積極的に子どもと関わることで、子どもは安心して成長することができる。また、家庭内でのルールづくりや、親子のふれあいの時間を大切にすることが、子どもの生活習慣や社会性を育む上で非常に重要である。

本校では上記のようなPTA活動を通じて、保護者と子どもたちのコミュニケーションの場を増やしている。そしてあらゆる場面を、保護者の家庭教育力を高める機会としており、子どもたちが健全に成長できるよう支援している。

また幸いにも本校が位置する美浜町上野間地区は、昔からこの地域に住んでいる方々が多く、地域の協力がとても厚い。自分の子どもだけでなく、どの子も地域全体で育てようとする理想的な雰囲気がある。子どもは地域の宝であるというこのよき風潮は、地域文化の継承はもちろん、家庭教育力の向上にも寄与することは言うまでもない。保護者も地域に支えられており、地域は家庭教育力の向上の場でもある。

今後も更なる家庭教育力の向上を目指し、学校と保護者、地域が三位一体となってスクラムを組み、さまざまなPTA活動を実施していきたい。そして、活動をとおして保護者と子どものコミュニケーションの場を増やし、保護者も子どもも、笑顔があふれる関係作りの支援を行っていきたい。